

# 経営者のための生命保険講座 第44回

生命保険見直し術

— 終身の保障が必要です！



日本人の平均寿命は、男性で76.6歳、女性で84.6歳、世界でもトップクラスの長寿国です。60歳以降も約9割の方が生存されており、長い老後に対する備えが必要です。

## <1>なぜ、一生涯の死亡保障が必要なのか？

### (1)日本人の平均寿命

厚生労働省「平成12年簡易生命表」

世界でトップクラスの長寿国！

男性 76.6歳 女性 84.6歳

### (2)60歳、65歳で生きている確率は？

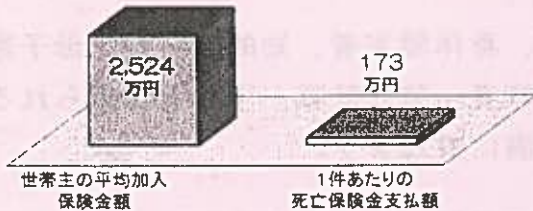
厚生労働省「平成12年簡易生命表」

9割の方が60歳以降も生きている！

	男性	女性
60歳時点の生存率	89.6%	94.7%
65歳時点の生存率	84.6%	92.5%

➡ **生命保険の恩恵を受けるのは、約9割の方が60歳以降！！**

## <2>生命保険平均加入金額と一件あたりの支払保険金額



平均加入金額は2500万円を超えています。一件あたりの平均受取金額は173万円。実際に受け取る時に足りなかったら、大変です。

(財)生命保険文化センター「生命保険に関する全国実態調査」  
(財)生命保険文化センター「2000年度版生命保険フラットブック」

➡ **一件あたりの死亡保険金支払額は173万円！！**

## <3>一生涯の準備が必要な金額は？

葬儀代/緊急予備資金は、一生涯変わることなく必要な準備資金です！

### <1>葬儀代

平成11年時）くらしの友社調べ

費用(万円)	
葬儀業者への支払い	152.8
お寺などに要した費用	70.6
会葬者への香典返し	82.6
接待費用	48.1
その他	12.6
合計	367万円

### <2>緊急予備資金

世帯主死亡による生活の建て直し（当面の生活費、諸雑費等）に活用。

月額生活費※×6ヶ月

※ 勤労者世帯全国平均は34.6万円

葬儀代 約370万円
+
緊急予備資金 約200万円
=
一生涯の準備が必要な資金 約570万円

➡ **最低でも葬儀代をカバーする400～500万円の準備は必要です！**

➡ **間違いなく受け取れるのは、終身保険だけです！！**

今回は、老後の保障について取り上げてみました。平均寿命からもわかる通り、老後の保障が必要だと思われます。これを機会に、ご家族の保障を見直してみたいはいかがでしょうか。

担当 渋木 洋子

